

マテリアリティ(最重要課題)特定プロセス

STEP 1 課題把握・整理

GRI(Global Reporting Initiative)のガイドラインを参照し、当社グループの事業戦略を通じて「SDGs」が掲げる17の目標達成にどのように貢献できるか、またそれぞれの事業に関わるリスクと機会について検討しました。

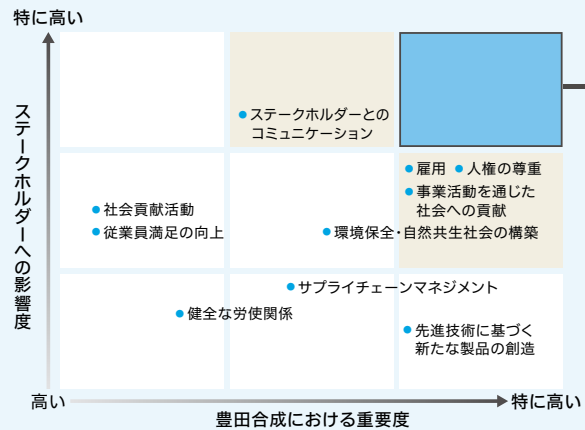
SDGsへの取り組み

豊田合成グループは、自らの事業活動を通じ、国際社会(全ての国連加盟国)が2030年までに目指す目標(SDGs: Sustainable Development Goals)達成に貢献していきます。



STEP 2 社内外の視点から各要素の重要度を判定

STEP1で抽出した検討課題をマテリアリティマップ上に配置。有識者およびステークホルダーへのヒアリングなどを踏まえ、いずれも「特に高い領域」に位置する項目を最重要視すべき課題と判定。



STEP 3 マテリアリティの特定

STEP2で抽出した最重要視すべき課題について、関係部門からなるプロジェクトチームでの検討を経て、9つの重点的な取り組みを決定しました。このマテリアリティは、ステークホルダーの皆様の関心、影響度が高いことはもちろん、当社グループにとっても重要なテーマとして位置づけています。

| | | |
|-----------|---|--|
| 環境 (E) | <ul style="list-style-type: none"> ● 低炭素社会の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量低減 ・温室効果ガス排出量低減 ● 循環型社会の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物低減 ・水使用量低減 ● 環境マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守、マネジメントシステム構築 ・環境意識の醸成 | |
| 社会 (S) | <ul style="list-style-type: none"> ● 人材 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材の育成 ・ワークライフバランスの推進 ・ダイバーシティの推進 ● 労働安全衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・安全で働きやすい職場づくり ・健康経営 ● 製品の品質向上 ● 地域社会との共生 | |
| ガバナンス (G) | <ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンス <ul style="list-style-type: none"> ・企業統治と経営の透明性 ● コンプライアンスの徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・企業倫理と法令遵守 | |